

都道府県ニュース

What's happening in your district



東京都春季 PL 大会

報告：東京都協会技術委員長

IPF 国際審判 物江毅

今春の東京都 PL 大会は、桜が満開の 4 月 2 日 TXP で開催された。52 名のエントリー、朝 8:45 の検量から始まり、終了が 20:00 過ぎという長丁場であったが、選手の頑張りは勿論の事、会場をセッティングして下さった TXP 阿久津オーナー及び武田コーチと TXP 会員各位のご協力、さらに関東学連のきびきびした補助団の動きで大変盛り上がった大会となった。

第 1 グループ 女子全員・男子 59kg 級

全員 & 66kg 級 JR 及びマスターズ

女子は 7 名エントリー（当日一人欠席）で、ベストリフターはベテランの 52kg 級 M2 にフルギア出場した原田恵選手（ノーリミッツ）、SQ のしゃがみがやや甘く苦戦し 92.5kg だったが、BP では 70kg の東京都新記録、DL も三試技とも成功し 100kg、TL262.5kg であった。

男子 59kg 級では JR の河野彰吾選手（関東学連・学習院大学）が SQ140kg（東京新）BP75kg、DL190kg（東京新）TL405kg（東京新）を樹立した。

66kg 級 M3 では大会定連の川上京司選手（個人）が BP で 95kg の東京新に成功した。

第 2 グループ 男子 66kg 級一般・74kg 級全員

何と言っても 66kg 級一般に出場したカレンダーイヤー 72 歳東京協会理事木島捷行選手が元気で SQ180kg（東京新）BP100kg DL150kg TL430kg（東京新）、フルギア参戦であったが、ご自分のお子さん以下の年齢と思われる 20 代と 30 代の選手を抑えて見事優勝。

74kg 級 JR では関東学連の石川裕士選手（青山学院大）と宇津木啓選手（東洋大）がガチンコ対決、SQ は宇津木君が 232.5kg の JR & 一般の東京新でリード（石川君 215kg）、BP は石川君が 145kg、宇津木君 137.5kg で Sub-TL は宇津木君が 10kg リード、DL は石川君 200kg、宇津木君 190kg でともに TL590kg でフィニッシュ、体重差で石川君の勝利となった。

同級一般に出場した鈴木真人選手（ノーリミッツ）は、SQ210kg BP167.5kg（東京新）、DL220kg TL597.5kg でベストリフターに輝いた。

なお、茨城からオープン参加した本島大稔選手（パワーハウスつくば）が、SQ265kg BP195kg DL240kg TL700kg の好記録をマークした。全日本 PL 大会の手応えをつかんだであろうか？

第 3 グループ 男子 83kg 級全員・93・105・120kg 級 JR

このグループでは、今大会最年長カレンダーイヤー 74 歳の佐藤喜次郎選手が全試技成功と大健闘、SQ105kg BP85kg DL120kg TL310kg という結果であった。佐藤さんとは大会定連で、ご自分の試技終了後娘婿の小林選手のセコンドにも入っておられた。いつまでも元気で大会にご出場いただきたいものである。

JR は各クラスに各々 1 名のエントリーであった。

93kg 級に出場した関東学連・高島皓介選手（青山学院大）は国士館高校出身、フルギアで出場し SQ255kg（東京新）BP165kg DL220kg TL640kg。

105kg 級にはパワーハウ



TXP ジムを会場として使わせていただき、お世話になった阿久津オーナー

所属の杉本洋介選手がフルギア出場、久保匡平コーチ及びジムメイトの声援を受け SQ230kg BP160kg DL170kg TL560kg (東京新)。

120kg級は関東学連・学習院大の鈴木祐太郎選手が落ち着いて試技をして八試技成功、SQ190kg BP117.5kg DL212.5kg TL520kgという結果であった。

第4グループ 男子 93kg級一般・105kg級一般及びマスターズ

このグループでは三選手が九試技成功、上述の佐藤さんがセコンドをした小林俊之選手(個人)はまだ試合慣れしていないようであったが、SQ200kg BP125kg DL210kg TL535kgとして、フルギア出場したパワーハウス堀内健司選手(TL630kg)に次いで、2位と健闘した。特にDLでは210kgをいともた易く引き切り、慣れればすぐにも250kg程度は引けそうな感じであった。

105kg級一般にフルギア出場した立花浩二選手(パワーハウス)はSQ225kg(M2東京新)BP155kg DL270kg(M1・2東京新)TL650kg(M2東京新)と安定した試技を見せてくれた。立花さんは一時体調不良で体重がかなり減っていたが、今大会は検量体重98.94kg、体調の回復につれ、かつて300kg以上引いていた得意のDLも270kgまで戻ってきた。是非ともM2での300kgオーバーを達成していただきたい。

同級M1で優勝した中村敏雄選手(TXP)は昨年のある大会でDL試技の際バーベルを膝に落として大怪我をして、今回は復帰戦であった。SQ200kg BP167.5kgとまとめ、DLでは175kgと軽めに入り、第二試技192.5kgを引いて第三試技怪我をした時の重量200kgを申請、見事にこれを引き切りTL567.5kgとした。試合後私がDL200kgが因縁の重量である事を確認した際「涙が出そうです！」と笑顔で語っておられた。中村さんは4/10春季東京BP大会にはフルギアで挑む。こちらでも200kgオーバーの試技が期待できそうである！

団体戦は、関東学連とパワーハウスが優勝者、2位の数も同数同点であったが、上位5名のフォーミュラーポイント合計で上回った関東学連に栄冠が輝いた。2位パワーハウス、3位には会場を提供して下さったTXP、4位は木島TPA理事が率いる立川トレーニングセンターであった。

毎年春季東京都PL大会は、TXPによる会場・試合器具提供で大変開催されている。



東京協会としては本当に感謝に堪えない。今回会場には阿久津オーナーが声掛けして参集して下さったフィットネス関連企業5社の出店ブースが有り、選手セコンド陣及び観客の方々からとても好評であった。また、TXP会員の塩谷さんによる大会生中継がYouTubeで流された。全日本大会では、当たり前になりつつある生中継が地方大会でも実施されたこと、画期的な事であろう。ちなみに4/10春季BP大会も生中継をする予定である。

最初にも書いたが、補助を務めて下さった関東学連の学生さん達は、選手と掛け持ちした方も複数名おられたにもかかわらず、とてもきびきびした動きで選手をサポートして下さった。

皆の思いが結実し、とても盛上がった今大会、4/10の春季東京BP大会、9/24の関東BP&東京都秋季総合BP・PL大会、11月の全日本BP大会も同様の盛会としたいものである。

都道府県ニュース

What's happening in your district

子・孫の年齢の選手達にも競り勝ちベストラフターを獲得、木島選手

第67回東京都・第44回東京都高校・第36回東京都マスターズパワーリフティング選手権大会



2016.4.2(土) TXP

第1グループ 女子全員・男子59kg級全員&66kg級JR及びマスターズ(14名)

順位	F/N	エントリー区分	カテゴリー	氏名	所属	カレンダー イヤー	体重	スクワット			ベンチプレス			サブトータル	デッドリフト			トータル	
								1	2	3	1	2	3		1	2	3		
1	N	M2	47	西川 裕子	個人	56	46.78	60	65	67.5	35	40	42.5	110.0	90	100	-407.5	210.0	283.4
—	N	M2	47	萩原 千史	個人	50	—											—	—
1	N	一般	52	丸田 美英	個人	27	51.58	-70	72.5	-77.5	32.5	35	-37.5	107.5	100	110	117.5	225.0	282.3
1	F	M2	52	原田 恵	ノーリミッツ	56	48.78	-92.5	92.5	-400	60	65	70	162.5	90	95	100	262.5	343.5
1	N	一般	57	塚本 美紀	パワーハウス	44	56.12	90	100	110	50	55	-57.5	165.0	90	-100	-105	255.0	299.5
1	N	一般	72	天野 恵子	パワーハウス	29	64.96	72.5	77.5	82.5	40	42.5	-45	125.0	80	95	105	230.0	241.4
1	N	M1	72	神澤 知子	個人	43	66.22	45	52.5	57.5	25	30	32.5	90.0	55	65	70	160.0	165.6
1	N	Jr.	59	河野 彰吾	東京学造(学習院大学)	20	58.66	-125	135	140	70	75	-77.5	215.0	180	190	-200	405.0	352.7
1	N	一般	59	木下 裕司	個人	37	58.76	80	-92.5	-92.5	80	85	90	170.0	105	120	135	305.0	265.2
2	N	一般	59	弘瀬 健吾	立川TC	31	55.52	90	100	-110	60	65	-67.5	165.0	90	100	110	275.0	252.5
1	N	M3	59	川上 京司	個人	66	56.46	90	100	105	90	92.5	-95	197.5	120	132.5	140	337.5	304.8
1	N	Jr.	66	ガンバトリック	TXP	22	63.9	140	150	-157.5	87.5	95	-100	245.0	170	180	-197.5	425.0	342.9
1	N	M1	66	赤坂 義昭	チームC&M	49	65.62	140	150	157.5	105	112.5	-117.5	270.0	160	-175	180	450.0	355
1	N	M2	66	高坂 正浩	個人	54	65.66	130	140	145	102.5	105	107.5	252.5	-145	145	155	407.5	321.3

東京新記録 原田 恵 52kg級F M1・M2 BP70kg
 河野 彰吾 59kg級N JR SQ140kg JRDL190kg JRTL405kg
 川上 京司 59kg級N M3 BP92.5kg
 赤坂 義昭 66kg級N M1 SQ157.5kg

第2グループ 男子66kg級一般・74kg級全員(12名)

順位	F/N	エントリー区分	カテゴリー	氏名	所属	カレンダー イヤー	体重	スクワット			ベンチプレス			サブトータル	デッドリフト			トータル	
								1	2	3	1	2	3		1	2	3		
1	F	一般	66	木島 捷行	立川TC	72	64.94	170	180	-190	90	100	-105	280.0	130	150		430.0	342.2
2	N	一般	66	荒木 雄介	個人	34	64.42	125	135	140	102.5	110	-112.5	250.0	162.5	-175	175	407.5	340.52
3	N	一般	66	中村 真	TXP	26	63.42	50	55	60	92.5	97.5	-102.5	157.5	90	100	110	267.5	217.2
1	F	Jr.	74	石川 裕士	東京学造(青山学院大学)	19	73.48	200	215	-225	130	140	145	360.0	180	200	-212.5	560.0	404.8
2	F	Jr.	74	宇津木 啓	東京学造(東洋大学)	20	74	215	225	232.5	120	130	137.5	370.0	170	190		560.0	402.8
1	F	一般	74	鈴木 真人	ノーリミッツ	32	72	200	-210	210	-160	160	167.5	377.5	220	-242.5	-242.5	597.5	438.4
2	N	一般	74	常定 慈	TXP	23	72.3	125	135	145	90	95	-100	240.0	160	180	195	435.0	318.2
3	N	一般	74	波多野 晋太郎	TXP	25	73.14	125	135	145	75	80	82.5	227.5	150	165	180	407.5	295.6
4	N	一般	74	クロウ ジョン	TXP	32	73.72	125	135	145	70	77.5	85	230.0	160	175	-192.5	405.0	292.1
1	N	M2	74	大島 秀平	個人	52	68.84	82.5	90	92.5	47.5	52.5	55	147.5	92.5	102.5	112.5	260.0	197.4
OP	F	一般	74	本島 大稔	パワーハウスつくば	41	73.24	250	260	265	-195	195		460.0	160	210	240	700.0	507.2
OP	N	一般	74	嵐 裕文	個人	27	74	150	155	-160	100	105	-110	260.0	170	175	180	440.0	316.5

東京新記録 木島 捷行 66kg級F M4 SQ180kg TL430kg
 宇津木 啓 74kg級F JR及び一般 SQ232.5kg
 鈴木 真人 74kg級F 一般 BP167.5kg

第3グループ 男子83kg級全員及び93・105・120kg級JR(13名)

順位	F/N	エントリー区分	カテゴリー	氏名	所属	カレンダー イヤー	体重	スクワット			ベンチプレス			サブトータル	デッドリフト			トータル	
								1	2	3	1	2	3		1	2	3		
1	N	一般	83	長尾 潤	個人	31	81.2	180	190	-195	130	137.5	-140	327.5	220	-245	-245	547.5	370.3
2	F	一般	83	佐藤 一夫	パワーハウス	55	77.58	195	202.5	205	-140	140	-142.5	345.0	-180	180	187.5	532.5	370.8
3	N	一般	83	宮口 ショーン マキ	個人	37	82.12	180	190	200	107.5	115	-122.5	315.0	200	210	-220	525	352.7

1	N	M1	83	岩附 秀幸	個人	45	81.46	180	-190	-190	105	115	120	300.0	180	200	-205	500	337.5
2	N	M1	83	Zienowicz David	個人	48	81.3	95	105	112.5	72.5	80	85	197.5	125	137.5	150	347.5	234.9
1	N	M2	83	片山 昌勅	パワーハウス	57	82.6	125	140	147.5	90	100	107.5	255.0	140	160	170	425	284.5
2	N	M2	83	山田 幸博	パワーハウス	58	82.38	105	115	120	97.5	102.5	-105	222.5	145	155	160	382.5	256.5
1	N	M4	83	佐藤 喜次郎	個人	74	78.34	90	100	105	75	80	85	190.0	100	110	120	310	214.5
OP	N	M2	83	高木 均	個人	51	77.84	152.5	162.5	170	120	-125	-125	290.0	160	167.5	-175	457.5	317.9
OP	N	M2	83	西出 浩之	スーパーパワーアサマレーニングクラブ	58	81.98	120	127.5	130	110	117.5	120	250.0	135	142.5	150	400	269
1	F	JR	93	高島 皓介	関東学連(青山学院大学)	19	88.4	235	245	255	-165	165	-170	420.0	220	-230		640	412.4
1	F	JR	105	杉本 洋介	パワーハウス	22	101.84	210	230	-245	140	150	160	390.0	150	170	-192.5	560	338.4
1	N	JR	120	鈴木 祐太郎	関東学連(学習院大学)	22	114.36	160	175	190	110	117.5	-125	307.5	165	190	212.5	520	302.6

東京新記録 高島 皓介 93kg級JR SQ255kg
杉本 洋介 105kg級JR SQ230kg BP160kg TL560kg

第4グループ 男子93kg級一般及び105kg級一般&マスターズ(12名)

順位	F/N	エントリー区分	カテゴリー	氏名	所属	カレンダー イヤー	体重	スクワット			ベンチプレス			サブトータル	デッドリフト			トータル	
								1	2	3	1	2	3		1	2	3		
1	F	一般	93	堀内 健司	パワーハウス	40	91.26	220	-235	-235	172.5	180	-195	400.0	200	215	230	630	399.4
2	N	一般	93	小林 俊之	個人	28	91.08	180	195	200	110	120	125	325.0	180	205	210	535	339.5
3	N	一般	93	高野 剛	TXP	46	92.06	150	162.5	175	120	130	-135	305.0	180	200	207.5	512.5	323.5
4	N	一般	93	村岡 勇太郎	TXP	24	90.58	160	175	190	117.5	122.5	127.5	317.5	157.5	175	-195	492.5	313.4
5	N	一般	93	真杉 孝博	TXP	37	84.5	150	160	170	102.5	107.5	112.5	282.5	150	165	180	462.5	305.5
6	N	一般	93	藤川 賢治	個人	46	89.46	140	152.5	-160	85	92.5	95	247.5	170	195	-202.5	442.5	283.4
7	N	一般	93	吉山 真	立川TC	40	89.72	115	130	-135	80	90	-92.5	220.0	130	145	-150	365	233.38
1	F	一般	105	立花 浩二	パワーハウス	50	98.94	195	215	225	145	150	155	380.0	230	255	270	650	397.3
2	N	一般	105	織田 貴義	TXP	24	93.96	180	190	200	125	135	140	340.0	200	210	-215	550	343.8
3	N	一般	105	沖田 真介	個人	47	103.54	175	185	-190	150	160	162.5	347.5	180	192.5	202.5	550	330.3
4	N	一般	105	萩原 浩二	立川TC	43	93.04	160	175	190	120	130	-140	320.0	180	190	200	520	326.6
1	N	M1	105	中村敏雄	TXP	46	102.66	175	192.5	200	155	162.5	167.5	367.5	175	192.5	200	567.5	341.9
—	N	M1	105	高山 和澄	TXP	40	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

東京新記録 立花 浩二 105kg級 M2 SQ225kg M1・M2DL270kg M2TL650kg

都道府県ニュース

What's happening in your district

東京都春季 BP 大会 レポート

IPF 国際審判・Team Ponze 代表
物江 毅



国立六小で行われた大会では、子供たちにベンチプレスを指導。

今年の東京都春季 BP 大会は、昨年に引き続き国立第六小学校で、4月10日に開催された。エントリー 88 名、小学生の BP 体験コーナーも盛況であった。また、一週間前の東京都春季 PL 大会同様大会生中継がユーストリームで流され(今回は東京協会のメディア委員長兼 JPA 広報委員の吉田成志氏による)とても雰囲気の良い大会となった。

第1セッション 女子全員

15名エントリー、14名出場で女子選手のためのセッションであった。今回は大会初出場の方が多く、それをサポートするセコンドの方々のアドバイスが飛び交い、皆で BP 公式戦で結果を残そうという雰囲気に溢れていた。

そんな中、都大会定連のお父さんに連れられて出場した 47kg 級 JR N 川上茉佑選手は三試技とも成功、45kg の東京タイ記録で優勝した。とても仲の良い川上さんファミリーで拝見していて微笑ましかった。

女子のベストラifter は 52kg 級一般 N に出場した馬場聖子選手が 50kg に成 F.P64.72 であった。

また、57kg 級一般 N で優勝した吉野郁恵選手(スパインハウス)は、25 - 30 - 32.5 と三試技とも成功、成功試技から選手控えに戻ってくる際の満面の笑みが印象的で可愛かった。

女子団体戦は、そのスパインハウスが優勝した。

第2セッション 男子 59kg 級全員

東京協会では JPA に先駆けて M 5 (80 台) クラスを数年前に設置、ベテランリフターのエントリーを募ってきたが、今回 80 歳以上の選手が 3 名ご出場され、夫々に見事に結果を残された。優勝は富田勇造選手で 52.5kg の

東京新記録、2 位最年長 83 歳渡辺定孝選手 45kg、3 位高橋招選手 40kg という結果であった。

上述した川上茉佑さんのお父さん、京司さんは、PL 大会に引き続き 2 週連続出場にもかかわらず健闘、92.5kg に成功し M3 で優勝された。





第3セッション 男子66kg級全員

かつて全日本BP大会の定連であった角田正義選手(江戸川グリーンパワー会)が、久しぶりに一般Fクラスにエントリー、195kgに成功し一般&M1の東京新記録を樹立して優勝、併せて男子のベストリフターも獲得(F.P154.48)した。角田さんは資格取得のため数年前から整体学校に通っており、練習量が落ちているとの事であったが、今秋東京で開催される全日本BP大会に是非ともご出場いただきたい。

その角田選手のチームメイト&先輩である江戸川のドン・田中勉選手も久しぶりにフルギアで出場、M4世界記録や日本記録をはるかに超える150kgに成功、伝説的な強さは健在であった。

私は江東区在住で、江戸川区とは隣接していることもあり、田中さんや角田さんとは10年以上前から親しくさせていただいている。東京のPL専門ジムは西東京地区に集中しており、我ら東東京地区のトレーニーは公立のトレーニング施設やゴールドジムなどで練習する機会が多いのだが、田中さんや角田さんの様に国際大会でも通用する素晴らしいアスリートも存在する事をこれからもアピールさせていただきたいと思っている。

このセッションM3に出場したTPA理事、選手宣誓を行った金谷貴選手は、第一試技142.5kgが押せずどうしたのかと心配したが、第二試技で同重量に成功、第三試技では150kgに成功し健在ぶりをアピールして下さった。試合後話を伺ったところ「第一試技はBPシャツが入っていないかった」との事であった。

第4セッション 男子74kg級全員

このセッションでは、フルギアで出場した3選手についてコメントしたい。

JRの部に出場した山口光耀選手(個人)は、第一試技で150kgを軽く決め、第二試技で160kg、第三試技で165kgに挑戦、惜しくも失敗であったが、積極的な試合運びを評価したい。

M2の部には大会定連の桑原勉選手(パワーハウス)が160kgに成功後、東京記録更新を狙って第二、第三試技で167.5kgに挑戦、あと一歩で押し切れなかったが、確実に力をつけているという印象だ。

M3には、会場の国立六小を手配して下さった川畑孝久選手(パワーハウス)が、教え子である小学生たちの声援を受け、100kgに成功。自己新となる110kgは惜しくも失敗であった。

第5セッション 男子83kg級

今回からTPA団体登録をした帝京平成スポーツアカデミーは今大会に8名エントリー、このクラスのJRには植田健選手が三試技とも成功、2位もチームメイトの木下雄介選手であった。

我がTeam PonzeからもM1FにFredy Lambert、M4Nに立野正勝選手が出場した。

人気者のLambert選手はかつて全日本BP大会で活躍していた頃と比較すると力は落ちているが、その明るいキャラは存在で、165kgで優勝、観客から盛んな声援を受けていた。

立野さんは、もう10年以上前にBPシャツを購入しており、今回公式戦初出場に当たり、NとFのどちらで出場するか迷っていたが、「初めての事でもありNで出たほうが良いと思います」とアドバイスさせていただいたところ、聞き入れてくださった。デビュー戦とは思えない落ち着いた試技で90-100-107.5(M4東京新記録)と三試技とも成功、来場したジム仲間から大喝采を浴びていた。

第6グループ 男子93kg級以上全員

93kg級M2Nに出場した佐野修選手(個人)は大会定連で、ジャパンクラシックBP大会や国際大会でも活躍している選手である。今回150-155に成功後、東京新となる160kgに第三試技で挑んだが、

都道府県ニュース

What's happening in your district

都道府県ニュース

What's happening in your district

惜しくもあと一押しできなかった。

105kg級Fには、一週間前春季東京都PL大会で、九試技全部成功した中村敏雄選手(TXP)が、連戦及びフルギアBPデビューにもかかわらず、完璧な三試技を披露してくれた。第一試技175と軽めに入り、第二試技195kgで全日本BP大会標準記録を突破、第三試技では205kgにも軽く成功した。

中村さんのコスチュームは赤のロングソックスを除き、全身青づくめでMCをしていた私は「Mr.ブルー三代目！」と紹介した。ちなみに初代は亡くなられた岩上勝男さん、二代目は私である。

試合後中村さんに話を伺ったところ、「次の目標は本日主審を務められた中谷幸市先生の東京記録230kgに挑戦する事です！」と力強く語ってくださった。

今大会、エントリー数も88名と、例年になく少なかった一年目の同大会からかなりの回復であったが、会場に来場された選手の応援者&セコンドの方々がとても多く、選手の試技中には温かい声援が飛んでいた。

男子の団体戦は優勝が帝京平成スポーツアカデミー、2位スパインハウス、3位パワーハウス、4位ノーリミッツ、5位江戸川グリーンパワー会、6位チームC&M、7位立川トレーニングセンターという結果であった。

TPAでは、9月24日に関東BP大会と東京都秋季総合PL&BP大会を「小平市民体育館」で開催、その2か月後には全日本BP大会を大井町の「きゅりあん」で開催する。

関東ブロック及び全国からBPフリークが大参集する大会としたいので、関係各位のご協力を是非ともお願いしたい。



ベストラフターは、久々に試合に出てきた角田選手。

今春の二大会、関東学連の補助の皆さん(女子学生も含まれていた)は本当にお世話になり、感謝に堪えない。

これからもJPA・都道府県各協会・学連・高校連盟が一致団結してパワーリフティング競技の発展のために寄与していきたいと強く熱望する。

皆さん宜しくお願い致します！！

第28回東京都春季ベンチプレス選手権大会

2016.4.10日) 国立第六小学校 体育館



第1グループ 女子全員(15名)

順位	ロットNo.	F/N	エントリー区分	カテゴリー	氏名	所属	生年	体重	ベンチプレス			ベスト記録	FP
									1	2	3		
1	3	N	JR	47	川上 菜佑	個人	1995	44.5	40	42.5	45	45.0	62.883
1	2	N	一般	47	門 由佳	個人	1981	45.3	40	42.5	45	45.0	62.118
—	9	N	一般	47	木村 友果	スパインハウス	1972					—	—
1	14	N	一般	52	馬場 聖子	個人	1980	49.5	45	50	-52.5	50.0	64.72
2	5	N	一般	52	浅野 優子	スパインハウス	1981	51.2	25	-27.5	-27.5	25.0	31.54
1	1	N	M1	52	武藤 美佳	チームC&M	1976	51.6	40	42.5	45	45.0	56.435
2	6	N	M1	52	石井 文子	スパインハウス	1973	51.5	40	-42.5	42.5	42.5	53.38
1	8	N	一般	57	吉野 郁恵	スパインハウス	1978	55.6	25	30	32.5	32.5	38.455
1	10	N	M1	57	田代 伸江	個人	1972	55.4	-45	-45	45	45.0	53.396
1	13	N	M2	57	吉岡 京子	個人	1962	54	-47.5	47.5	-50	47.5	57.503
1	7	N	M3	57	加藤 厚子	個人	1955	54.2	47.5	50	-55	50.0	60.355
1	12	N	一般	63	播磨 美穂	ノーリミッツ	1976	60.1	42.5	45	47.5	47.5	52.889
1	4	N	M3	63	戸波 和子	個人	1947	58.6	35	40	45	45.0	51.099
1	11	N	一般	72	井上 さゆり	チームC&M	1993	70.3	-50	55	-57.5	55.0	54.556
1	15	N	M2	84	山田 哲子	個人	1963	75.6	30	35	40	40.0	37.838

東京新記録

戸波 和子 63kg級M3N 45kg

47kg級JRN の東京記録は2015年12月13日世田谷大会で白輪地夏選手が45kgの記録を樹立しておりました 当日のプログラムの記載ミスです 申し訳ございませんでした

第2グループ 男子59kg級全員(12名)

順位	ロットNo.	F/N	エントリー区分	カテゴリー	氏名	所属	生年	体重	ベンチプレス			ベスト記録	FP
									1	2	3		
1	25	N	一般	59	井野 朗宏	個人	1983	56.1	110	115	-120	115.0	104.51
2	23	N	一般	59	平山 弘毅	個人	1985	58.1	90	95	-100	95.0	83.477
3	22	N	一般	59	岩瀬 泰介	帝京平成スポーツアカデミー	1988	57.7	80	92.5	-100	92.5	81.816
4	18	N	一般	59	木下 裕司	個人	1979	58.9	85	90	-92.5	90.0	78.075
—	19	N	一般	59	塩田 幸久	スパインハウス	1979					—	—
1	26	N	M1	59	鈴木 研太郎	スパインハウス	1975	58.4	55	-60	-60	55.0	48.098
1	17	F	M1	59	井田 行雄	個人	1971	58.2	120	125	-130	125.0	109.66
1	20	N	M3	59	川上 京司	個人	1950	55.3	90	-92.5	92.5	92.5	85.257
2	16	N	M3	59	橋本 昇	個人	1956	57	80	85	87.5	87.5	78.304
1	24	N	M5	59	富田勇造	個人	1935	58.1	47.5	50	52.5	52.5	46.132
2	27	N	M5	59	渡辺定孝	個人	1933	54	40	45	-47.5	45.0	42.476
3	21	N	M5	59	高橋 招	スパインハウス	1935	50.1	30	37.5	40	40.0	40.84

東京新記録

富田勇造 59kg級M3N 52.5kg

第3グループ 男子66kg級全員(15名)

順位	ロットNo.	F/N	エントリー区分	カテゴリー	氏名	所属	生年	体重	ベンチプレス			ベスト記録	FP
									1	2	3		
1	28	N	SJR	66	坂下 竜一	個人	1999	64.2	105	-110	-110	105.0	84.368
1	41	N	一般	66	石田 亘央	パワーハウス	1980	64.8	-115	145	152.5	152.5	121.59
2	29	N	一般	66	鈴木 康太	個人	1982	65.8	135	140	-145	140.0	110.21
3	40	N	一般	66	山木 裕司	個人	1983	63.7	-130	130	135	135.0	109.2
4	30	N	一般	66	山本 修平	チームC&M	1978	65.6	110	-117.5	-117.5	110.0	86.801
5	42	N	一般	66	佐治 学	スパインハウス	1978	63.4	55	60	65	65.0	52.793
1	39	F	一般	66	角田 正義	江戸川グリーンパワー会	1972	65.3	-195	195	-200	195.0	154.48
2	31	F	一般	66	石川 拓也	パワーハウス	1979	65.5	165	175	-180	175.0	138.27
1	32	N	M1	66	本多 慶太	スパインハウス	1974	65.4	70	75	-77.5	75.0	59.333
2	38	N	M2	66	小林 弘	スパインハウス	1959	62.4	70	75	-80	75.0	61.763
1	33	N	M2	66	高坂 正浩	個人	1962	65	102.5	107.5	110	110.0	87.472
1	37	N	M3	66	飯野 充	江戸川グリーンパワー会	1954	65.5	95	100	-105	100.0	79.014
1	34	F	M3	66	金谷 貴	ノーリミッツ	1948	63.8	-142.5	142.5	150	150.0	121.17
2	36	F	M3	66	澤田 信司	パワーハウス	1947	64.9	120	-125	-125	120.0	95.547
1	35	F	M4	66	田中 勉	江戸川グリーンパワー会	1946	63.1	140	-145	150	150.0	122.33

東京新記録

角田 正義 66kg級F 一般及びM1 195kg

田中 勉 66kg級F M4 150kg

第4グループ 男子74kg級全員(18名)

順位	ロットNo.	F/N	エントリー区分	カテゴリー	氏名	所属	生年	体重	ベンチプレス			ベスト記録	FP
									1	2	3		
1	43	N	JR	74	土田 耕平	帝京平成スポーツアカデミー	1995	72.5	50	60	70	70.0	51.1
1	60	F	JR	74	山口 光輝	個人	1996	72.5	150	-160	-165	150.0	109.5
1	44	N	一般	74	高橋 勇二	帝京平成スポーツアカデミー	1983	72.4	145	-160	-160	145.0	105.95
2	59	N	一般	74	尾島 峻	個人	1985	72.4	127.5	132.5	135	135.0	98.645
3	57	N	一般	74	佐々木 裕亮	ノーリミッツ	1984	66.8	120	127.5	-132.5	127.5	99.131
4	56	N	一般	74	中村 広樹	個人	1985	73	105	117.5	-122.5	117.5	85.352

5	45	N	一般	74	有賀 康雄	スパインハウス	1977	73.4	105	110	-120	110.0	79.585
6	58	N	一般	74	浅野 陽平	スパインハウス	1978	70	-90	95	-400	95.0	71.193
7	46	N	一般	74	加茂 喜章	スパインハウス	1982	72.3	-75	75	80	80.0	58.52
—	47	N	一般	74	八木 恒彦	パワーハウス	1979					—	—
1	48	N	M1	74	中村 昭彦	個人	1971	70.5	100	105	-440	105.0	78.257
2	49	N	M1	74	鵬川 達	個人	1968	69.8	-400	100	-442.5	100.0	75.1
3	55	N	M1	74	中村 直樹	スパインハウス	1973	73.4	70	-75	-75	70.0	50.645
1	50	N	M2	74	坂平 克成	チームC&M	1966	70.6	90	-95	-95	90.0	67.005
2	54	N	M2	74	高橋 広行	スパインハウス	1964	66.1	55	-60	60	60.0	47.052
1	53	F	M2	74	桑原 勉	パワーハウス	1965	73.3	160	-467.5	-467.5	160.0	115.87
—	51	F	M2	74	桃井 雄二	個人	1957	72.3	-440	-440	-450	—	—
1	52	F	M3	74	川畑 孝久	パワーハウス	1950	73.4	100	-440	-440	100.0	72.35

第5グループ 男子83kg級全員(14名)

順位	ロットNo.	F/N	エントリー区分	カテゴリー	氏名	所属	生年	体重	ベンチプレス			ベスト記録	FP
									1	2	3		
1	61	N	JR	83	植田 健	帝京平成スポーツアカデミー	1995	81.4	100	110.5	117.5	117.5	79.36
2	73	N	JR	83	木下 雄介	帝京平成スポーツアカデミー	1996	80.7	60	-65	-65	60.0	40.74
1	64	N	一般	83	和田 駿	個人	1991	79.6	145	160	-470	160.0	109.58
2	70	N	一般	83	尾嶋 裕	個人	1973	81.7	140	145	-450	145.0	97.716
3	62	N	一般	83	山田 洋平	スパインハウス	1978	81.9	120	-430	-430	120.0	80.748
4	72	N	一般	83	清水 大介	スパインハウス	1979	80.4	100	110	-420	110.0	74.866
5	71	N	一般	83	西 修作	スパインハウス	1977	77.9	82.5	87.5	-90	87.5	60.769
—	63	N	一般	83	笛田 敬仁	スパインハウス	1977					—	—
1	65	F	一般	83	田中 学	ノーリミッツ	1977	79.6	122.5	-430	-430	122.5	83.9
2	69	F	M1	83	永井 岳彦	立川TC	1967	81.2	90	-400	-400	90.0	60.876
1	66	F	M1	83	Freddy Lamb	Team Ponze	1967	81.1	160	165	-470	165.0	111.69
1	68	N	M2	83	西條 準	個人	1963	81	140	147.5	-452.5	147.5	99.917
2	67	N	M2	83	辻 久雄	チームC&M	1957	81.4	-400	100	102.5	102.5	69.229
1	74	N	M4	83	立野 正勝	Team Ponze	1941	82.8	90	100	107.5	107.5	71.864

東京新記録 立野 正勝 83kg級N&F M4 107.5kg

83kg級JRNの東京記録は2011.10.29第10回秋季東京大会で高橋星選手がSJRで120kgを記録しておりJRの記録も上回っておりまして 東京記録の記載ミスです 申し訳ございませんでした

第6グループ 男子93kg級以上全員(14名)

順位	ロットNo.	F/N	エントリー区分	カテゴリー	氏名	所属	生年	体重	ベンチプレス			ベスト記録	FP
									1	2	3		
1	75	N	JR	93	若菜 駿之	帝京平成スポーツアカデミー	1994	91.9	70	75	-80	75.0	47.385
1	88	N	一般	93	青手木 信仁	個人	1987	91.1	140	-450	150	150.0	95.175
2	87	N	一般	93	柴田 和基	立川TC	1985	87.4	110	117.5	-420	117.5	76.175
3	76	N	一般	93	勇 大介	スパインハウス	1978	90.8	95	100	-405	100.0	63.56
1	77	F	一般	93	石田 吉央	パワーハウス	1983	88.2	185	-200	200	200.0	129.02
1	86	N	M1	93	吉田 啓英	帝京平成スポーツアカデミー	1973	91.3	140	150	160	160.0	101.41
2	78	N	M1	93	実川 誠	ノーリミッツ	1967	84.5	70	-75	75	75.0	49.545
1	79	N	M2	93	佐野 修	個人	1963	91.5	150	155	-460	155.0	98.131
2	85	N	M2	93	小坂 敏	立川TC	1965	85.6	110	120	122.5	122.5	80.323
1	84	N	JR	105	波野 利五	帝京平成スポーツアカデミー	1996	98	90	100	-440.5	100.0	61.36
1	80	N	M1	105	石坂 英也	スパインハウス	1970	101	115	122.5	-427.5	122.5	74.26
1	83	F	M1	105	中村 敏雄	TXP	1970	103.2	175	195	205	205.0	123.27
OP	81	N	一般	120	高山洋之	個人	1985	117.5	205	-245	-245	205.0	118.45
1	82	N	一般	120超	藤田 和也	スパインハウス	1987	122.4	60	70	-80	70.0	40.068